

Monthly Graphic Journal:vol.303



LEADER'S

巻頭特集

広がりを見せる映像コンテンツの世界

特別企画

再生日本

●企業家の軌跡と未来●The Intelligence●技●寺社散策●いい店 いい人 いい出会い

2014.6



表紙写真

ワールドカップ成功を誓う
ブラジルのジルマ・ルセフ大統領と
FIFAのジョセフ・ゼップ・ブラッター会長



(2014年2月取材)

代表取締役 **手塚 孝昭** × ゲスト **大沢 逸美**

大沢 手塚社長の歩みからお聞かせいただけますか。

手塚 地元・徳島の出身で、愛媛の大手製紙会社を経て、かねてより興味を抱いていた建築業界でもある外壁材の会社に就職しました。現場の片付けや配達などの下積みを経て営業、管理職と仕事ができるようになり、20代後半には独立心が芽生えてきたのです。その後、先輩が立ち上げた会社に移ってさらに修業を積み、今から6年ほど前に『ソラール』を立ち上げました。

大沢 こちらでも、お勤めのころと同じ

携わってみたいという気持ちがありましたので、太陽光発電システムの販売と取り付け、省エネ・リフォームも手掛けるようになりました。もちろん、外壁工事や屋根工事、建築板金、塗装工事、防水工事、断熱工事なども承っています。大沢 同業者さんも多いと思いますが。手塚 非常に多いですね。その中で私共が強みにしているのは、外壁や屋根、板金などのノウハウがあることと、色々なメーカー（商品）を提案できること。施工が難しい屋根もありますが、そんな時は独自に金物を作って取り付けることも

（株）ソラール

徳島県板野郡藍住町徳元村 123-1-102
TEL 088-612-8820 FAX 088-612-8821
E-mail : solar.eco@yellow.plala.or.jp



外装業界で培ったノウハウを活かし 太陽光発電システムの普及に挑む

く外壁のお仕事をメインにされているのでしょうか。

手塚 独立する時に、エコにかかわる事業に

できます。

大沢 お仕事をされる上で、社長が大事にされていることは？

手塚 たとえ無理だと分かっていることでも粘り強く、最後まで諦めずに全力で取り組むことです。

大沢 今後は太陽光発電以外の事業にも着手するお考えはありますか。

手塚 はい。省エネやエコにかかわる業務のウエイトを増やしていきたいですし、新しいことにも積極的に取り組んでいきたいと思っています。また、地球温暖化、森林伐採が進む中で植樹活動などに携わっていきたいですね。そうして、弊社の事業内容をもっと一般の人にも知っていただけるよう広くアピールしていきたいと思っています！

大沢 益々のご活躍を期待しています！

エス・ハート・エス(株)

大阪府大阪市北区梅田 3-4-5 毎日新聞ビル 8階
TEL 06-6346-5014 FAX 06-6346-5024
URL : <http://www.s-heart-s.net>

共存共栄の志を社の礎として 健康・美容分野で信頼を集める

布川 木下社長の歩みから伺います。

木下 奈良県の出身で、学業修了後は研磨剤メーカーに就職し、事務職を務めていました。その後、会社の新規事業に携わらせていただくことになり、健康茶や入浴剤などの販売を手掛けていたのです。幸運にも新規事業は軌道に乗ったのですが、一方で会社の業績は低迷推移を続けていたのです。そうした状況の中、1999年——29歳の時に独立して会社を立ち上げ、その後2004年に『エス・ハート・エス』を設立しました。

布川 どのような事業を手掛けておられるのでしょうか。

木下 健康・美容をテーマとした製品の開発・販売を主たる業務としており、OEMや通販サイトの運営なども手掛けています。お客様、取引先、そして私た

ちの三方の心を笑顔でつなぐことを使命としており、共存共栄の志を企業の礎として、日々努力を重ねています。社名は「Smile Heart Story」の頭文字から取り、かかわる全ての人が笑顔で幸福な物語を紡いでいけるようにとの想いを込めました。

布川 素敵な理念ですね。主な商材をお聞かせ下さい。

木下 メインとなるのは「スカルプブラシ」です。これは頭皮・髪専用のブラシで、毛穴まで優しく洗うことができ、ナイロン製ですので頭皮を傷める心配がありません。一般的に、歯は歯ブラシ、体はボディタオルを使いますが、頭皮は手で洗います。そこに疑問を持ち、洗髪に



(2014年3月取材)

代表取締役 **木下 恵** × ゲスト **布川 敏和**

相応しいブラシをと開発されたのが本製品なんですよ。実際に使っていただいたお客様からは、たくさんの喜びの声を頂戴しています。

布川 頭皮ケアは発毛促進に重要なことですから、認知が広がれば一層需要は高まりそうですね。では最後に、今後の抱負をお聞かせ下さい。

木下 今後は海外、特にアジア諸国に向けて精力的に活動していきたいと考えています。近々、ベトナムに事務所を構える予定で、そこを拠点に国境を越えたビジネスを展開していく所存です。